

第32回

うつのみやこども賞だより

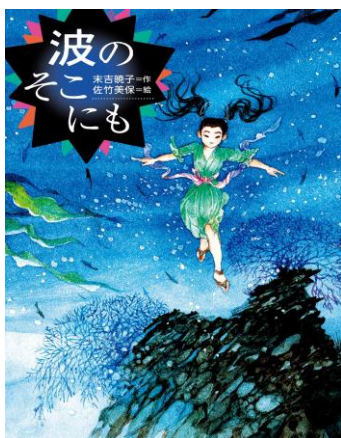
平成27年度 5回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『波のそこにも』

末吉暁子／著（偕成社）



～読んだ本の感想より～

- 上つ国と水底の国が交わり合っていく感じがした。上つ国の皇子とリョーが、住む世界が全くちがうのにすぐに仲良くなっているのが、住む場所や人種は関係ないのだなと感じた。
- ファンタジーのお話はあまり得意ではなかったけれど、帝の宝剣を主に探す中でいろんな事が起こり、この本を好きになることができました。
- 『平家物語』をだいたいにしていて、おもしろかったです。
- 私が知っている平家物語が入っていて、「あ、なるほどな」や「ここ知っている」と言って楽しく読めた。

●上つ国の皇子の気持ちがずっと入ってきた。上つ国の皇子がかわいそうだなと思った。

●最後のげきりんの話のところはとてもびっくりした。

『ツクツクボウシの鳴くところに』

黒須高嶺／著（文化出版）

- 三人がやっている交かん日記がそのまま再現されていて、とても読みやすかったです。いろんな作戦を三人でねって、変こうしたりそのまま実行して、運命をうまくずらしていくところがおもしろかったです。
- 過去と現在がシンクロしていて過去のことを考えながら今を進んでいくところがおもしろかった。
- 頭をなやませていた問題をとてもざんしんなアイデアでかいけつするところが、意外で、びっくりした。たくさんのおどろきがつまった本だった。

『E g g s 夏のトライアングル』

小瀬木麻美／著（ポプラ社）

- 1しょうせつごとにちがう人から見た話で進んでいていろんな人の気持ちや考えが分かったのでとても分かりやすかったです。
- 個性豊かな登場人物たちのやり取りからうまれるストーリーにわくわくどきどきした！！
- 男の人に後をつけられていた時、ランのお父さんの対応がカッコよかった。
- モトくんの知識の量にびっくりした。

『空母せたたま小学校、発進！』

芝田勝茂／著（そうえん社）

- 友情がためされる話だと思った。このお話をきっかけに、友達との時間をもっと大切にしていければいいなと思った。
- 客船を小学校にしまうというとてもない発想の区長さんがすごいとおもいました。
- 話全体がゲームのようでおもしろかった。
- ゲームを作ったのがロボットで、ゲームを作ったきっかけが実際に世界で起こっていることを止めるためという設定にはまりこんだ。
- 海をきたなくしてしまっているのは、大人達だけの責任ではないので「環境」について考えるようになりました。